

バクテロイデス・フラジリス由来のシアリダーゼ **33A**、組換え型

Cat. No. NATE-1511

Lot. No. (See product label)

はじめに

概要 ノイラミニダーゼ酵素は、ノイラミン酸のグリコシド結合を切断するグリコシド加水分解酵素 (EC 3.2.1.18) です。ノイラミニダーゼ酵素は大きなファミリーで、さまざまな生物に存在します。最もよく知られているノイラミニダーゼはウイルス性ノイラミニダーゼで、インフルエンザ感染の抑制を防ぐための抑制剤ターゲットです。ウイルス性ノイラミニダーゼは、インフルエンザウイルスの表面に見られる抗原決定因子として頻繁に使用されます。インフルエンザノイラミニダーゼのいくつかの異体は、ウイルスに他のものよりも高い病原性を与えます。他のホモログは哺乳類細胞に見られ、さまざまな機能を持っています。少なくとも4つの哺乳類シアリダーゼホモログがヒトゲノムで記述されています (NEU1、NEU2、NEU3、NEU4を参照)。

別名 神細胞アミダーゼ; シアリダーゼ; α -神細胞アミダーゼ; アセチル神細胞アミダーゼ; エキソ- α -シアリダーゼ; EC 3.2.1.18; 9001-67-6

製品情報

種	バクテロイデス・フラジリス
由来	E. coli
形態	35 mM NaHepes バッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM CaCl ₂ 、0.02% ナトリウムアジ化物および 25% (v/v) グリセロール
EC番号	EC 3.2.1.18
CAS登録番号	9001-67-6
純度	>SDS-PAGEによる評価で90%
濃度	0.25 mg/mL
特異性	オリゴ糖、糖タンパク質、糖脂質、コロミン酸および合成基板からのシアル酸

保管・発送情報

保存方法 この酵素は室温で発送されますが、-20 °Cで保存する必要があります。